

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年9月19日

仙台市・六郷児童館

様々な大きさかたちの箱に、いろいろなものをくっつけてオリジナルの箱をつくっちゃおうというこのワークショップ。今日は、未就学の子どもたちと、そのお母さんたちで行うこととなりました。今回は、グルーガンを使っての作業もあったのですが、何回となく「あぢっ」との声もあがりましたが、ひとりで使いこなすまでになっていたり。驚きの成長ぶりです。お母さんも「まだ早いと思って、うちにあるグルーガン使わせたことなかったけれど、今日の見たらもう渡しても大丈夫だね」と満面の笑み。

貝殻、シール、アートフラワー、石、ポンポン、コラージュ、なんでもござれで、作品づくりに集中している子どもたち。そして、そのお母さんたちも、息子や娘に負けてなるものかと、自分の箱づくりに夢中になっていました。てなこと、予定時間を遥かにオーバーしても手は止まらず。といった状況。

子どもたちは子どもたちで、自分がつくった自慢の箱を見せ合うというひと時があったり。なかでも材料の“自衛隊の貝”は男の子たちに大人気で、あっという間に売り切れごめん。ちなみにこの貝殻、迷彩色っぽい巻貝でありました。

女の子は、やはり可愛らしいものがお好みのようで、ハート型の箱に、ハートのオブジェがいっぱいくっつけたフェミニンな逸品ができあがります。見せてもらうと、箱の内側にもハートに切り抜いた色紙が貼ってありました。

「できたら、この箱に何入れる？」と最初に息子に尋ねたお母さん。その答えは「ゴミ」。終盤、丹誠込めてつくった箱を見せにやって来た男の子。「出来上がった箱に何入れる？」と聞いたら、やっぱり「ゴミ」ですって。大人たちが大笑いした一幕でした。

